

2026年2月19日

株式会社電通デジタル

電通デジタル社員、「MAD STARS 2026」の審査員に選出

株式会社電通デジタル（本社：東京都港区 代表取締役社長執行役員：瀧本 恒 以下、電通デジタル）は、「MAD STARS 2026」において、釜山での最終審査を行う本選審査員に津布楽一樹が、予選審査員に谷口 昇司が選出されたことをお知らせします。

「MAD STARS」は、韓国の釜山で 2008 年より開催されている国際広告賞で、マーケティング、広告、デジタルコンテンツにおいて創造的なソリューションをもたらした施策を評価し贈賞を行うアワードです。

MAD STARS について <https://www.madstars.org/>

本選審査員



津布楽 一樹

DDCR (Dentsu Digital Creative)
マネージングディレクター/エグゼクティブクリエイティブパートナー

プロフィール

電通入社後、ストラテジーとクリエイティブのハイブリッドとして活動。50 以上のブランドの支援に加え、スタートアップのグロース支援や書籍出版なども手掛ける。

アジアや欧米、アフリカ、南米など多くの国でのプロジェクトに従事した後、2014 年からは中国やカナダで、CCO や CXO 等を歴任。これまでに 100 以上の広告賞メダルを獲得すると共に、Cannes Lions や The One Show をはじめとした国際的な広告賞の審査員も務める。2023 年には Campaign 誌によるグレーターチャイナ・クリエイティブ・リーダー・オブ・ザ・イヤーに選出。

2024 年末に 10 年ぶりに日本に帰国後、2025 年より電通デジタルに参画。

予選審査員



谷口 昇司

DDCR (Dentsu Digital Creative)
エグゼクティブクリエイティブディレクター

プロフィール

内資系の総合広告代理店と外資系の業種特化型広告代理店でのキャリアを経て、2020 年に電通アイソバー（現 電通デジタル）入社。

多様な業種のクライアントとあらゆるメディアのコミュニケーション開発を手掛け、ターゲットの心を的確に捉えるためのメソッドニュートラルなクリエイティブスタイルを確立する。

Cannes Lions、The CLIO Awards、Spikes Asia、The One Show、D&AD、London International Awards、ADFEST、MAD STARS、Cresta Awards 等の国際広告賞や、日経広告賞、日本産業広告賞、日本雑誌広告賞、新聞広告賞、JAA 広告賞、広告電通賞、ACC 賞等の国内主要広告賞の受賞実績多数。

また、国際広告賞の審査員長や審査員を複数回にわたって務める。

今後も電通デジタルは、多様な実績を持つクリエイターの活躍を通じて、生活者のインサイトを徹底的に深堀し、人の心とモノを動かすクリエイティブを提供してまいります。

以上

<電通デジタルについて> <https://www.dentsudigital.co.jp/>

電通デジタルは、国内最大規模の総合デジタルファームです。「人の心を動かし、価値を創造し、世界のあり方を変える。」をパーソナルに、生活者に寄り添うクリエイティビティとテクノロジーを統合的に活用することで、あらゆるトランスフォーメーションを実現しています。クライアントの事業成長パートナーとして、共に新たな価値を創造することで、経済そして社会の「変革と成長」を目指しています。

【リリースに関する問い合わせ先】

株式会社電通デジタル コーポレートコミュニケーション部

北川・宮本 Email : press@dentsudigital.co.jp